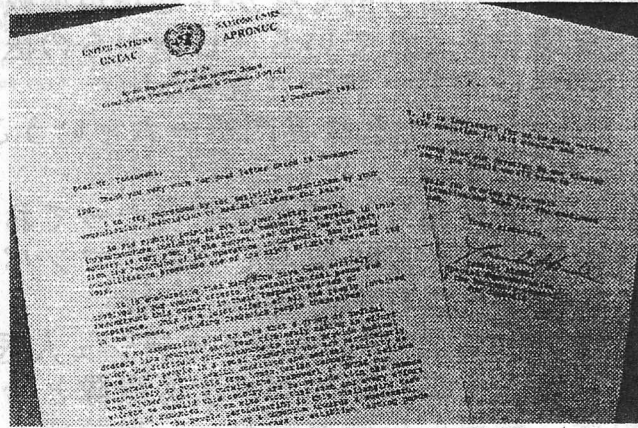


アジア医師連絡協に 感謝の手紙届く



UNTACの明石代表からAMDAに届いた感謝の手紙

UNTAC 明石代表から

世界十三カ国・地域の約四百人の医師でつくるNGO（非政府組織）「アジア医師連絡協議会（AMDA）」（本部・岡山市、菅波茂代表）が昨年十月から実施しているカンボジアに帰還した難民の救援医療プロジェクトに対し、このほど国連カンボジア暫定統治機構（UNTAC）の明石康代表から感謝の手紙が届いた。アジア各国で活発に展開しているAMDAの活動が、国際的に認められた。手紙は現地で活動する高橋央医師（三〇）あてに送られた。全文英文で「AMDAの活動に強い感銘を受けている」とし、「あなたの方のような医師のグループが、特に健康状態が悪く医療施設も整っていない地域で人々の健康を守ろうと絶え間ない努力をしておられることをとてもうれしく思っています」と記されていた。そして、「カンボジアのためにも働くというこの挑戦的な任務に参加するすべての人々の努力によって、カンボジアに永続的な平和が打ち立てられることを私は確信している」と結ばれている。

菅波代表は「私たちの活動が認められ、うれしい。これからも、真の国際協力とは何かを常に考えながら、必要な活動を積極的に展開していきたい」と話している。